

センスオブワンダー2023

当会はいち海上の森センターが開校した海上の森大学の修了生がつくる同窓会が母体です。海上の森大学終了にともない海上の森大学の理念を引き継ぎ平成30年にいち海上の森交流会と名称変更しました。2020年度から小学校の学習指導要領は「子どもたちに求められる資質・能力とは何か」を社会と共有し、連携する「社会に開かれた教育課程」にシフトしました。これは地域の教材を通して特色ある地域を作っていく子を育てる教育へのシフトと思っています。今後、地域で活動している人たちに対する期待が大きくなると思います。

センスオブワンダーの活動は、「海上の森は学びの場」として位置づけられ海上の森センターの協力を得ています。海上の森の自然の不思議さを伝えるセンスオブワンダーは今年で4年目、応募家族31、応募総数82名になり、今年も定員を超えました。インフルエンザ流行などのキャンセルがあり最終的に参加家族は20、参加総数49人になりました。

「こんなにアリの種類がいるの！」「カエルが光に集まった虫を食べるのを見て驚いた。」いろいろな生き物の生きざまが見られる海上の森はおとなにとっても子どもにとっても学びの場です。

森の中でアマガエル・トンボを探そう

7月29日(土)9時~12時

アマガエルの暮らす環境を学ぶ計画していた幼児フィールドは立ち入り禁止になり、駐車場の草も猛暑のため枯れ毎年見かけるカエルもいませんでした。予定変更して沢で生き物探しです。さすが生き物好きな子が集まったので沢の中や石の下などでいろいろな生き物が見つかり異学年交流が始まりました。

ひっくり返したサワガニはどうやって戻るか何度も見ました。



ヤモリをつかまえた子がいました。壁や服に付けても落ちません。あしの裏に秘密があるかじっくり観察しました。



ウサギ年です ウサギのように飛躍しよう！

8月5日(土)9時半から12時

森を歩くといろいろなものが落ちてます。中にはコロコロしたウサギの糞もあります。ウサギは草食動物。草食動物の栄養の取り方のひみつに迫ります。その後クズの茎で作ったボールを使ってのボーリング、落ちているものを使っての工作をしました。



アリの行列を見よう

8月26日(土)9時~12時

今回見つけたのは12種類のアリ。ここでしか見られないアリ図鑑は好評でした。餌を置く場所餌の種類によって集まって来るアリの種類が異なります。リピート参加者は要領が分かって餌の置き場所も心得たものでした。小さなコツノアリを見つけた子のすばらしい観察眼に周りから賞賛の声がとびました。餌に群がる周りのアリの行列を見つけた子はアリの行列をたどって巣を探していました。ソーセージに2種類のアリが？ふつうは1つの餌に1種類しか集まらないのにとじっと見る子が「どうも小さいアリの方が強そうだった」と教えてくれました。いろいろなアリの姿を追い観察する我が子の姿に感心する親御さんもいました。



夕方活動を始める生き物を探そう -虫の音を聞きながら星を見よう-

9月16日(土) 17時~19時半

夕方は夜活動する生き物たちの活動開始時間です。コウモリがかなり低空で飛んでくれました。出来立てのクモの網にライトを照らすと輝き見ている人を感動させます。カエルやカマキリを捕まえるのに夢中になる子どもの姿も見られます。ブラックライトになぜかたくさんの虫が集まるのを不思議そうに見る子どもたち。捕まえたカエルを集まった虫の近くに置いたり、虫かごにカマキリとバッタを入れると「食べた!」と大興奮。帰り際に語ってくれたお母さんの言葉。「そうか 生き物は餌を求めて活動するんですね!」。当たり前なことだが実際に見るとわかるようです。

